

平成18年3月期 決算説明会



スターホールディングス株式会社

STAR HOLDINGS CO.,LTD

<http://www.star-ir.co.jp>

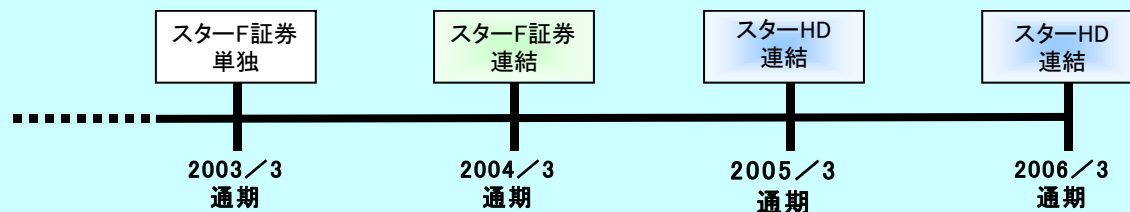
2006年5月

目次

業績概況	1
収益の推移と内訳	2
資産の推移と内訳	3
費用の推移と内訳	4
部門別業績	
商品	5・6
為替	7・8
証券	9
今後の展開	10

※資料中の財務データについて

当社は2004年12月1日にスターフューチャーズ証券株式会社(現スターアセット証券株式会社)の株式移転により、設立された持株会社となります。本資料の財務データは、以下の通りとなります。



2004年3月期以前の財務データは、当期のそれとは連続性が高いものの、完全に連続しているものではありません。従いまして、2004年3月期以前の財務データは、あくまでも経年比較のための参考データとなりますことをご了承ください。

■ 業績概況

スターホールディングス株式会社
STAR HOLDINGS CO.,LTD

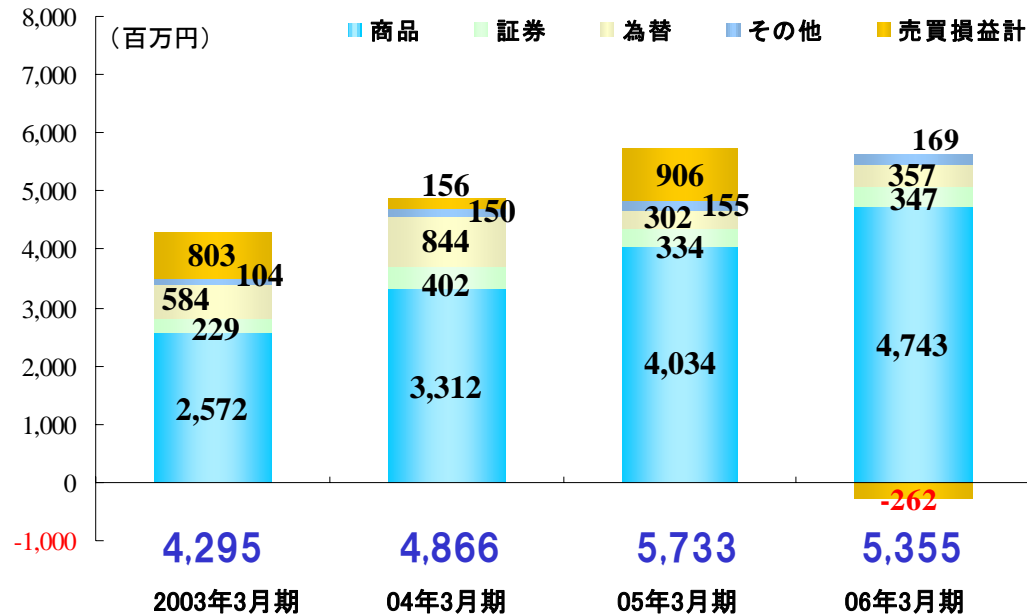
商品・証券・為替が共に増収、自己売買が損失計上

単位:百万円

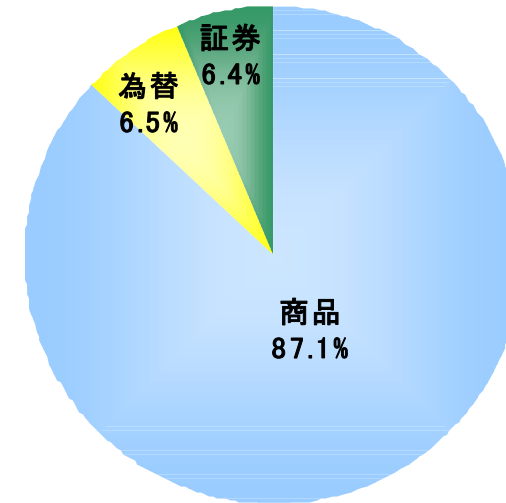
	06年3月期 (連結)	05年3月期 (連結)	前年同期比
営業収益	5,355	5,733	△6.6%
受取手数料	5,449	4,671	+16.6%
(商品業務)	4,743	4,034	+17.6%
(為替業務)	357	302	+18.2%
(証券業務)	347	334	+4.0%
売買損益	△262	906	—
その他	169	155	+8.7%
営業費用	5,678	5,781	△1.8%
営業利益	△323	△48	—
経常利益	△272	△22	—

■ 収益の推移と内訳

□ 収益の推移



□ 当期の連結受取手数料事業別内訳



■ 商品業務 ⇒ 受取手数料収益の改善と自己売買損の計上

貴金属市場 1,796百万円(+5.1%) 農産物 1,121百万円(+35.9%) 自己売買損 △262百万円

■ 為替業務 ⇒ 「くりっく365」取扱開始による収益の増加

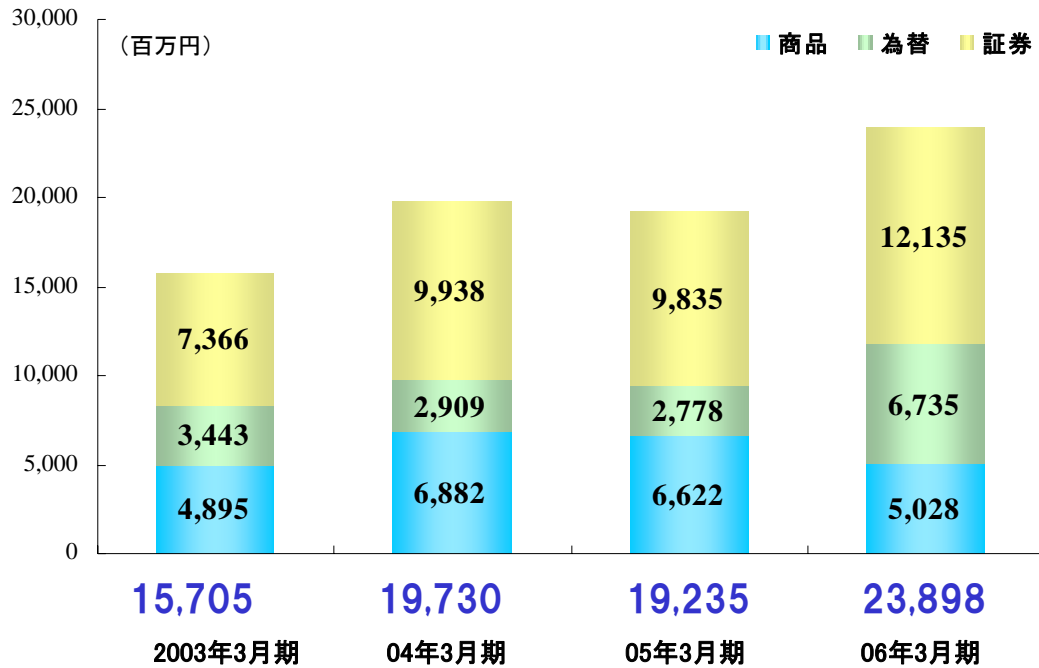
「くりっく365」受取手数料 100百万円

■ 証券業務 ⇒ 株式先物取引・現物取引手数料の増加

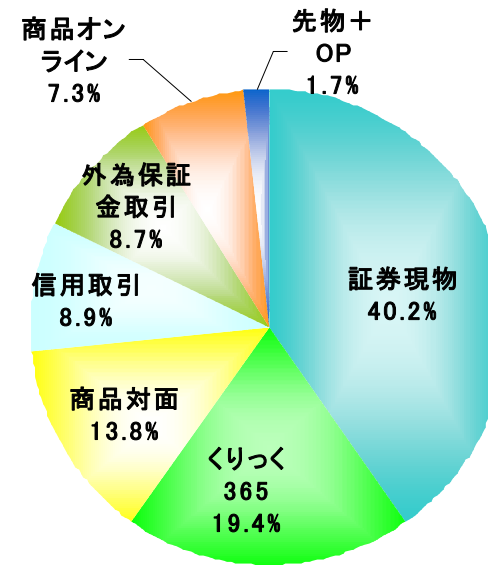
株式先物取引 61百万円(+267.3%) 現物取引 116百万円(+20.6%)

■ 資産の推移と内訳

□ 預り資産の推移



□ 当期の口座別預り資産



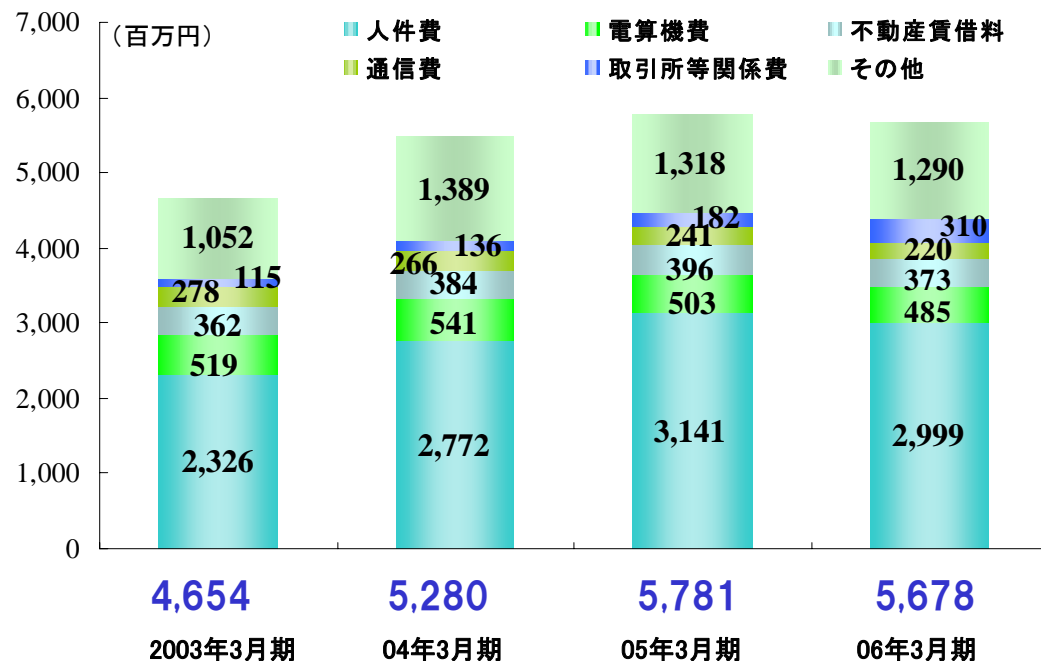
■ 証券、くりっく365(為替)の資産が増加

・預り資産の前年同期比

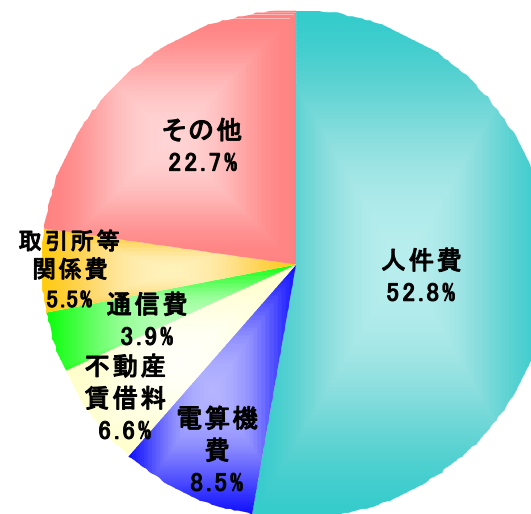
為替 +142.4% 商品 △24.1% 証券 +23.4% 預り資産全体 +24.2%

■ 費用の推移と内訳

□ 費用の推移と内訳



□ 当期連結費用の内訳



■ 増加⇒取引所等関係費、広告宣伝費

- ・取引所等関係 +70.1% (「くりっく365」取扱開始に伴う費用増加)
- ・広告宣伝費 +74.3% (「くりっく365」広告宣伝費の増加)

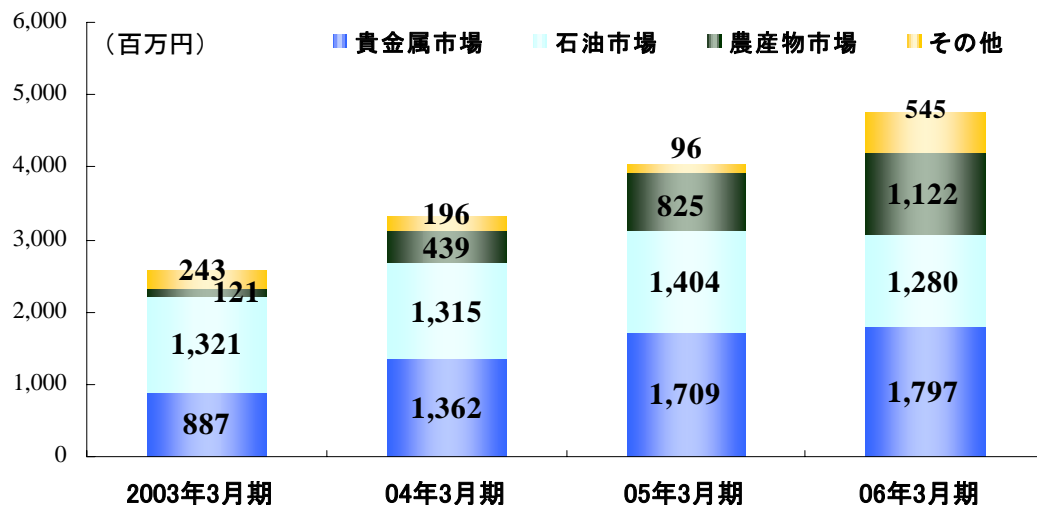
■ 減少⇒人件費、電算機費、不動産賃借料、通信費

人件費 Δ 4.5% 電算機費 Δ 3.5% 不動産賃借料 Δ 5.6% 通信費 Δ 8.5%

部門別業績

■商品 業績概況

□ 受取手数料の推移と内訳

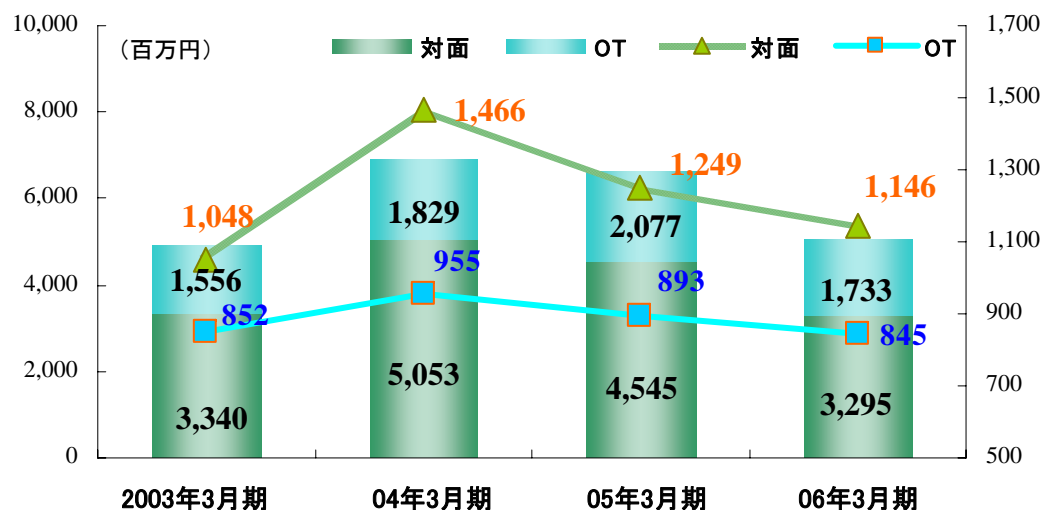


収益の状況(前年同期比、%)

農産物市場	+35.9%
貴金属市場	+5.1%
石油市場	△8.8%

農産物とゴムが大幅増、貴金属も増加
石油が微減

□ 預り資産と口座数の推移



預り資産と口座数の状況 (前年同期比、%)

	対面	OT
預り資産	△27.5%	△16.5%
口座数	△8.2%	△5.4%

預り資産と口座数が共に減少

■商品サマリ

□ 当期のトピック(商取法改正、国際商品市況の動向)

■商品取引法改正(2005年5月1日施行)

- ・商品取引員の財務要件の厳格化(純資産規制比率)
- ・勧誘行為等のルール強化(適合性原則など)
- ・国際的な基準を満たす市場制度

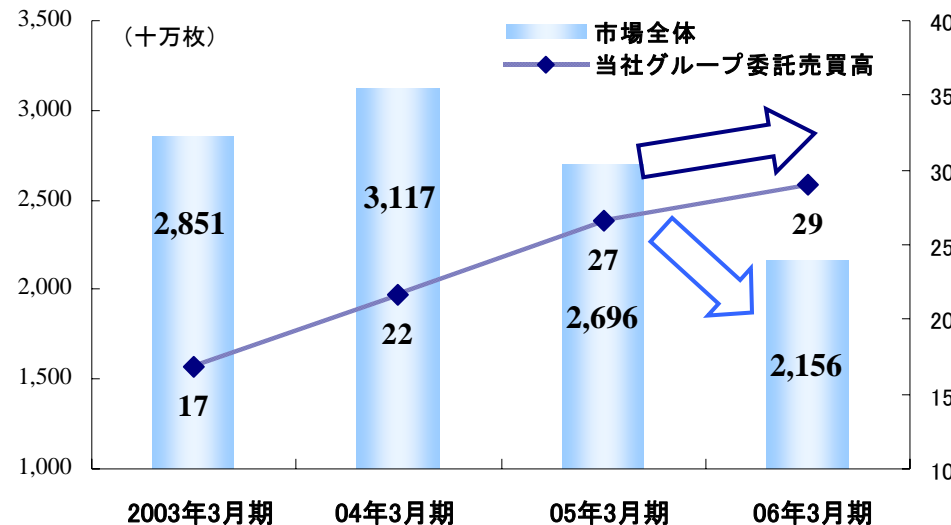
⇒業界の再編が進むとともに、新たなビジネスチャンスの可能性も広がる

■国際商品市況の活況

- ・中国などの需要増や世界同時景気回復によるインフレ懸念によるコモディティ需要の増加
- ・代表的な商品指標であるCRB指数が2006年1月に350の大台に乗る

⇒商品先物市場への注目度がUP

□ 商品先物市場全体と当社グループ委託売買高比較

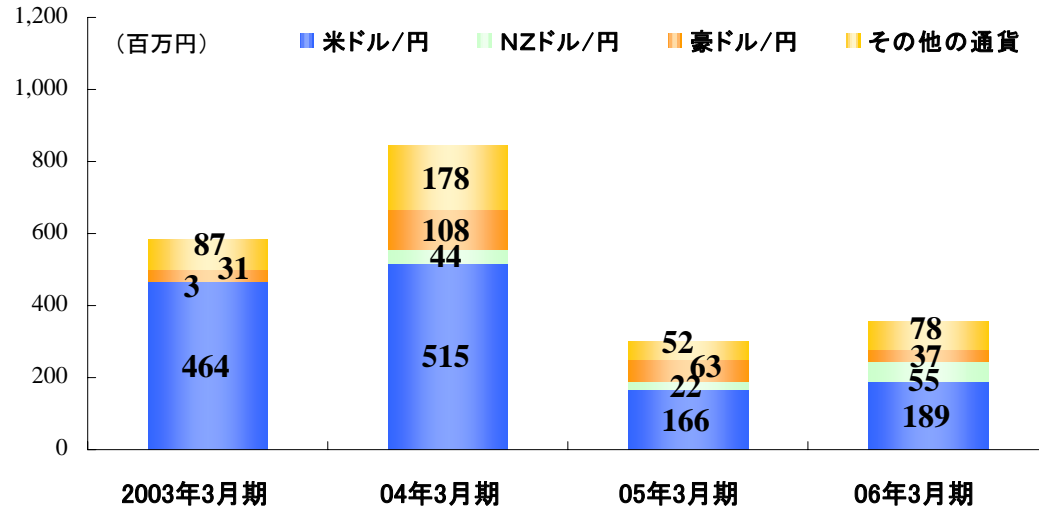


商品取引の売買高増加

- ・スターホールディングスグループ
⇒ 4期連続で増加(前年同期比9.0%増)
 - ・商品先物市場全体
⇒ 前年同期比で20.0%ダウン
- ◎市場全体の売買高が減る中で、当社グループ売買高が増加
⇒収益増に繋がる

為替 業績概況

収益の推移と内訳

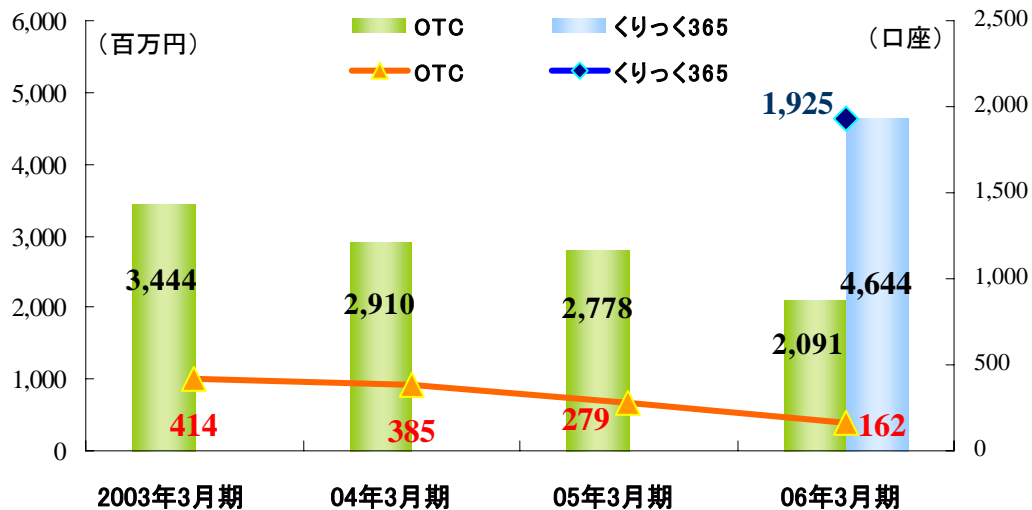


収益の状況 (前年同期比)

米ドル/円	+14.0%
NZドル/円	+147.4%
豪ドル/円	△42.3%
その他	+50.4%

豪ドル、ユーロ以外が前年比増

預り資産と口座数の推移



預り資産と口座数の状況 (前年同期比、%)

預り資産(全体)	+142.4%
口座数(全体)	+648.0%

くりっく365の開始により、預り資産、
口座数ともに大幅増。

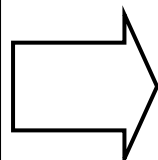
■ 為替サマリ

□ 金融先物取引法改正(2005年7月1日施行)の影響

■改正の焦点

- ・証券会社と同様の登録制となり、自己資本規制比率が適用
- ・不招請勧誘(顧客からの要望のない勧誘)の禁止

⇒悪質な業者や財務体質の脆弱な業者の淘汰が進むとともに、為替事業の形態そのものを見直す必要性が出てきた

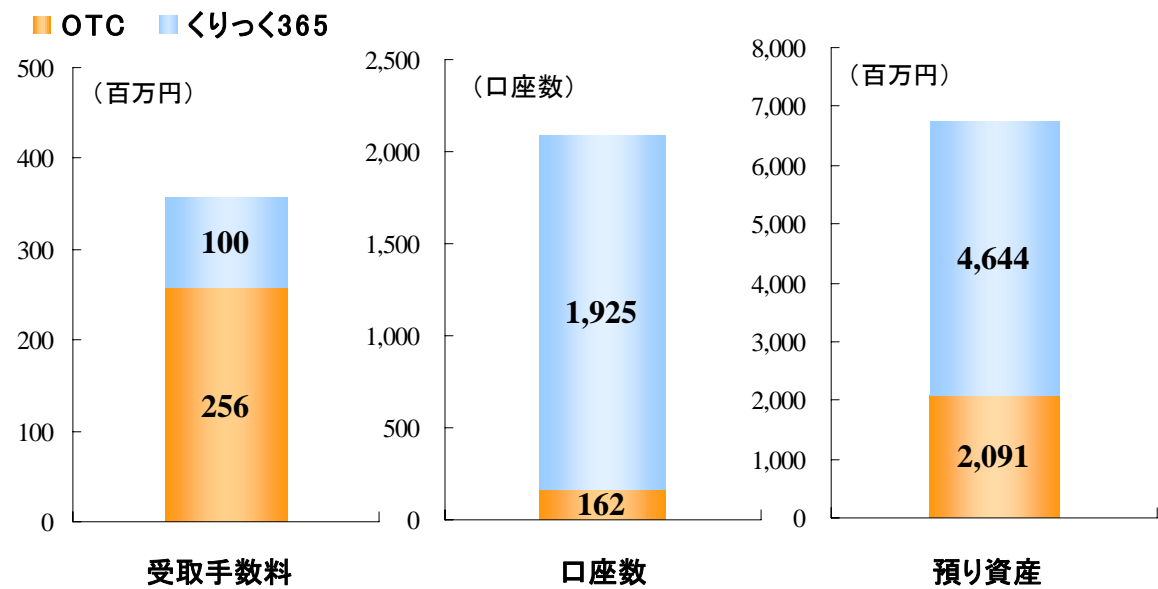


**オンライン取引(「くりっく365」と
対面取引(OTC取引)との
2本柱で為替業務を展開**

□ 「くりっく365」とOTC(店頭)取引の当期末比較

■くりっく365の特長

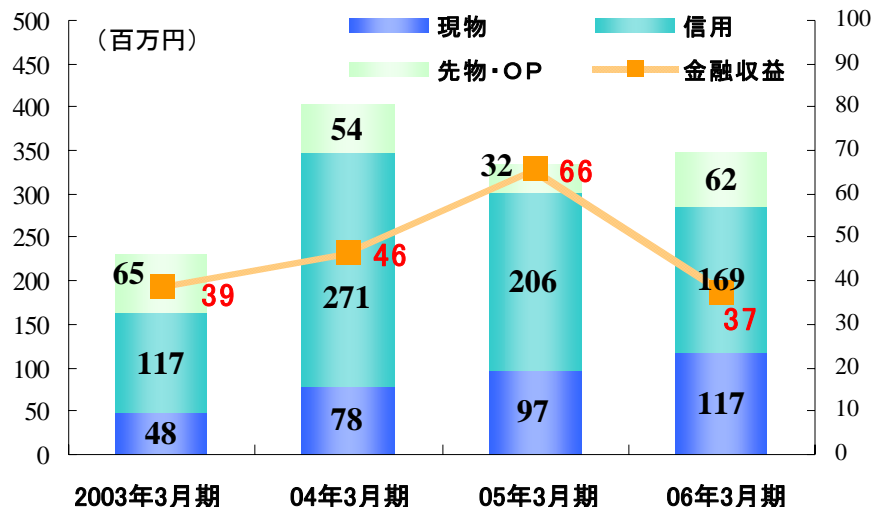
- ・東京金融先物取引所に上場しているオンライン取引
- ・金融先物取引業の許可(2006年4月からは登録)を受けた為替証拠金取引参加者のみ取扱い可能
- ・取引の相手方がマーケットメイカー
- ・顧客の差し入れた証拠金は取引所に直接預託



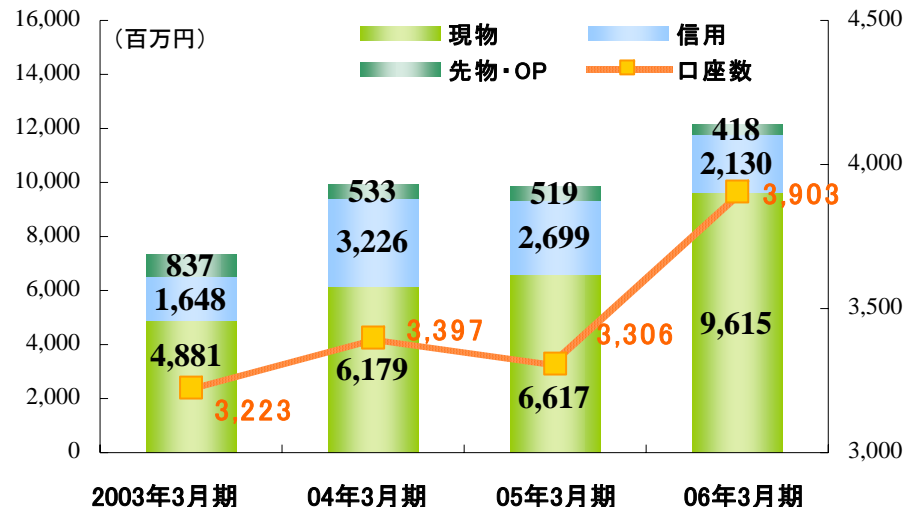
証券 業績概況

スターホールディングス株式会社
STAR HOLDINGS CO.,LTD

□ 収益の推移



□ 預り資産と口座数の推移



■収益、預り資産及び口座数の状況(前年同期比、%)

◇収益 +4.0% (内訳 現金 +20.6% 信用 △17.8% 先物・OP +94.5% 金融収益 △43.2%)

◇預り資産 +23.7%

◇口座数 +18.1%

■今後の対応

- ・証券オンライン取引の開始(本年7月予定)
- ・投資信託の取扱の拡充

■ グループ概要

スターホールディングス株式会社
STAR HOLDINGS CO.,LTD

